

ピョニヤン宣言のすみやかな履行と日朝国交正常化の早期実現

日朝新春の集いが盛大に開催

編集委員 K

二〇一三年二月二十二日(水)に港区民センターにて「二〇一三年日朝友好(西・港・大正)新春のつどい」が開催されました。



オープニングには朝鮮高級学校の生徒さんによ

るコーラスを聞かせて頂きました。

次に主催者挨拶として、実行委員長の 大野進さんが以下のお話をされました。

1. 昨年末の総選挙にて誕生した安倍政権は、
・憲法改悪や日米軍事同盟の強化を邁進すると思われる。

・尖閣等の領土問題で国民の愛国心を煽り、朝鮮民主主義人民共和国の人権問題をミサイルと称し、抑止力が必要である

として、オスブレイの配備に見られるように軍事力の増強を行っている。

2. 政府は高校授業料の無償化に関して、朝鮮高級学校のみを適用除外する

という在日朝鮮人に対する悪質な弾圧行為や経済制裁の強化を行っており、同じ日本人として情けなく恥ずかしい。

3. 日本維新の会が続いている補助金停止に見られる在日朝鮮人排除政策は、目に余るものがありこの様な弱者排除の思想はファシズムを彷彿とさ

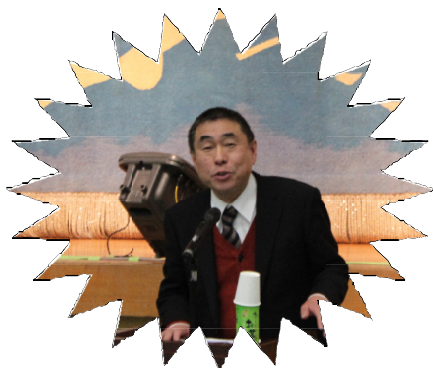
せる。マスコミも客観性・公平性を欠いた報道を垂れ流し、責任は重大。

4. 日朝両国の関係はこれまででない厳しい状況にあるが、今こそ民衆レベルの友好運動を強化し、東アジアの平和と安定に寄与しなければならぬ。

続いて来賓代表挨拶には、在日朝鮮民主女性同盟大阪府本部委員長の 夫貞さんが、アメリカの朝鮮に対する恫喝、朝鮮は平和発展を望んでいる事を力強くお話されました。

次に基調講演「アジアの中に日本の未来がある」を大阪府日中友好協会評

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



議員の井関要さんが次の内容でお話されました。

まずは本題の前に以下のお話をされました。

アメリカは北朝鮮の核実験を中国のせいとしている。

これに対し中国は、北朝鮮は自主的に実験を行っており中国の指図ではない。中国は国連決議を守って、軍事関連のものは輸出していない。通常の貿

易を行っている。

むしろ、アメリカの北朝鮮への強圧的な圧力が今回の事態を招いたと言っている。

日本は韓国のロケット打ち上げには何も言わないのに、朝鮮の打ち上げには迎撃態勢まで整えて騒いでいる。訳の分からないおかしな話である。

さらにマスコミは中国のレーザー照射に関する大騒ぎをしている。これについても中国側は反論している。

日本の自衛隊の護衛艦は、自国の公海上を走行する中国艦に対して執拗なストーカー行為を行い、写真をばち撮っている

る。これに対し中国側は日本に再三の抗議を行っているが、日本では全く報道されていない。

ここからは本題として以下のお話をされました。
1. 中国総領事館の領事さんより、港の日中友好の碑建立・顕彰活動に対する感謝の言葉がありました。

2. 中国総領事館主催しセブションに参加しました。

その時に分かった事は、海外ではパナソニックよりも朝鮮総聯の方が扱いが上である。日本の中にいると分からないが、アジアや国際社会の中では

朝鮮の地位は相当高いという事が分かりました。日本の報道では国際社会の事は分からない。

3. 中国の友人から聞いた話だと、今朝鮮戦争の様な戦争が行われたと仮定すると、中国は韓国を五分で壊滅させる事が出来る。対アメリカでも中国は勝利出来る。アメリカの主要都市を攻撃し、アメリカで二〇〇万人、中国一〇〇〇万人の被害が想定される。

アメリカは被害二〇〇万人の時点で戦争を続けていけなくなるが、中国は一億人まで被害が出て大丈夫。しかし、中国は平和的發展を望んでい

る。

4. 中国・朝鮮の発展は今日のアジアの危機的な状況にあつて、戦争抑止の大きな力である。

5. 日本の未来はアジアの中にある。中国・朝鮮と共に日本も発展していかなければいけない。

そのために一番大事な事は日本国憲法である。

この平和憲法を改憲すれば、国に戦争する自由を与え、日本国民の人権が蹂躪されてしまう。

皆さんと共に憲法改悪阻止に向けて闘って行きましょう！

そして、日中友好、日朝の国交正常化へ向けての第一弾として、朝鮮学

校への民族教育支援を共に闘っていきましょう！

その後、アプロハムケアピールと共同アピールの採択が行われました。

ここで第一部が終了し、続いて第二部が行われました。

第二部ではまず、在日本朝鮮人総聯合会大阪府西大阪支部・沈基鳳委員



長による乾杯のあいさつが行われ、しばしの間大阪朝鮮歌舞団の皆さんによる歌と舞踊を見ながら用意された朝鮮料理に舌鼓を打ちました。

そして、最後に実行委員長の大野進さんによる団結ガンバローで今回の集いは閉会となりました。



私は今回、初めてこの集いに参加させて頂いたのですが、最近の日本・朝鮮の状況を考え、どの様な会になるのかと思われましたが、大変穏やかな会となりました。

国同士では色々あると思いますが、まずは団体・個人同士の繋がりで摩擦を無くしていき、最終的には国同士も平和で友好的な関係を築いていけたらいいなと思いました。

